



俳句

横山 容子 選

大杉の外は隠しぬ夏の霧
 永らへて火星を仰ぐ螢の夜
 万緑に囲まれ池の輝きて
 柿若葉つやつや光る雨上り
 新緑を渡る風あり吹かれ立つ
 夏めくや光る川面に群鷗
 風船を飛ばし高さを競ふ子等
 紫は雲に紛れず桐の花

川柳

藤原 真佐美 選

ほんのりと山椒香るちらし寿司 木原恵美子
 たんぽぽの綿毛日差しの中で舞う 加藤泰江
 薔薇薫る少女のような妻の顔 三好清信
 婆ちゃん足の足を焦らした信号機 越智幸子
 スマホから曾孫の写真初対面 桑原牙子
 パーベキユー煙の向こう笑顔見る 高塚啓子
 時忘れ孫と虫取る田んぼ道 池田智恵子
 幸せは三度三度のうまい飯 近藤忠夫

短歌

藤田 虎雄 選

燐寸する音もかそけく葉桜の繁る朝の墓地静
 かなり 森田 薫
 継獅子のてっぺん高く勇ましく青空に舞う男
 児晴れやか 渡邊清賀
 中学の運動会も無事終えて連れだち帰るユニ
 ホームの子等 坂根祐子
 五月晴れ黄金色のはだか麦コンバインにて刈
 り取られゆく 塩見真由美
 古希近くなりて懐かし故郷の端午は遠くなり
 て思はる 三好清信
 白鷺が横断歩道をさつそうと信号青と知って
 か知らずか 加藤千賀子
 少年期によく泳ぎたる高田池 今も変わらず
 清水満満 松木尚成
 嫁孫に揃いの生地のおでんちを仕立てて冬を
 待つ吾は喜寿 佐伯利枝

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先
 〒793-8601 明屋敷164
 西条市役所 広報広聴課 広報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

ふるさと産品通信

夏を代表する高級魚の1つ

ハモ

■問合せ

市庁舎新館2階 観光物産課
 物産・ブランド推進係
 TEL0897-52-1380



ハモといえば、京料理を連想する方も多いと思います。関西では古くから夏の味覚として珍重され、京都の祇園祭、大阪の天神祭などには欠かせない食材となっています。

ハモはウナギやアナゴに近い仲間で、うろこが無く大きな口と鋭い歯が特徴です。比較的暖かい地域の、水深の浅い砂泥地を好んで生息しています。西条では遠浅の燧灘一帯に分布し、6月から9月ごろにかけて底引き網漁で漁獲されています。

ハモは骨が多く、おいしくいただくためには、下処理として細かく小骨を切る「骨切り」を行わなければならず、家庭で食べられることの少ない魚でしたが、近年は骨切りをした商品も販売され、身近な魚となりつつあります。旬の時期には市内の飲食店でも出されるほか、高級かまぼこの材料にも使われています。

この地元産ハモが京都の市場から高く評価されたこともあり、壬生川漁業協同組合では、6月から「雅(みやび) 瀬のハモ」の名で、京都市中央卸売市場に本格的に定期出荷を開始しており、今後新たなブランド化が大きく期待されています。

皆さんもぜひご賞味ください。

